

知の創造

ものつくり大学研究

▷15◁

ものつくり大学・製造学科 た製図に代わり、コンピュータでは、初年次から設計製図のタを用いたCADソフトと言授業をおこなっています。まず、スケッチから始まって、CADソフトは、図形をドラフター（製図器）に代わり、平面で扱う2次元CADと、機械製図を行います。内容は、立体すなわち3次元で操作する3次元ソフトがあります。線の描き方から始まり、部品が、学生は2年次より2次元図、組立図へと進んでいきます。CAD、3次元CADの両方を学んでいます。製造学科の一方、近年は鉛筆などを用い

カリキュラムにおいて、CADの習得は重要なことと考えています。

2次元CADについては、

業界に広く普及しているソフトに取り組んでいます。学

生の個人のレベルにもよりますが、検定を受験し合格することを目標としています。

3次元CADについては、ソフトウェアの活用が多いソフトを使っています。

用しています。三つのCAD

ソフトウェアをカリキュラムに組み込んでいます。

ソフトウェアを揃えるのは不可能な

を学習し、その使い方をマニュアルから吸収できる能力があれば、経験の無い新しいCADソフトに適應できることを考えたものを比較的短時間に制作できます。

高橋 正明 製造学科教授

CAD教育と3次元プリンタの活用



たかはし・まさあき 東京都立大学修士修了。博士（工学）。日本ヒクタイ、東京工業大学等を経て、2001年ものつくり大学。05年4月より現職。砥粒加工学会・次世代固定砥粒加工プロセス専門委員会幹事専門は精密計測・精密加工。

今年度、文科省より戴く教育研究活性化設備整備費補助金で、1人1台の体制で小型の3Dプリンタを揃える予定です。個々の学生が自由に使えることができるようキット方式のものになり、ものつくりの意欲をより増加させることができると考えます。今後ともという授業では、学生はフル学生の教育について、充実して新しいもの、新しい機をさせていきたくと考えています。

埼玉経済

企業、団体、商店街などの話題や情報をお寄せください
TEL 048-795-9161 FAX 048-653-9000
ikeizai@saitama-np.co.jp